

European Summer School & 2nd Japanese-German Student Workshop 派遣報告

東京大学 新領域創成科学研究科 物質系専攻
今西 康雄

今回の European Summer School & 2nd Japanese-German student Workshop を通して、プラズマの基礎知識を学び直し、世界各国における最先端の研究について知るだけでなく、その中での自分の研究の立ち位置を把握することができました。まず前半部は Physikzentrum Bad Honnef にて European Summer School が行われ、後半部は 2nd Japanese-German student Workshop が Ruhr 大学 Bochum 校にて行われました。

‘Low Temperature Plasma Physics: Basics and Application’ と題した European Summer School には世界各国より多くの学生が参加しており、世界的に著名な研究者の方々による講義が行われました。前半部はプラズマの基礎知識・応用に関する包括的な講義と講義参加者によるポスター発表が行われ、具体的にはマイクロ波励起プラズマや誘導結合型プラズマ、容量結合プラズマなどの主要なプラズマに関する講義と、分光技術による診断法や流体モデリングなどに関する講義が行われました。これら講義を通し、これまでに学んだ基礎知識の再確認だけでなく、自分が知らなかった知識を自覚し、プラズマの知識を深めることができました。またポスターセッションにおいては、講義参加者が己の研究に関してポスター発表を行い、各自の研究に関する話し合いが活発に行われていました。このポスターセッションにおいては、多くの参加者の方々より自分の研究に関して貴重な意見を多く戴くことができました。後半部は Master Class on “The Physics and Technology of Fusion Plasma” と題され、主に核融合プラズマに関する基礎知識と最先端研究、それらにおける課題等に関して講義が行われました。具体的には、核融合プラズマに関する分光診断やリアクター等に関する講義が行われました。また上記以外にも、Coffee Break や Dinner の時間において各国の研究者と研究について議論を深め、

また自国文化などに関しても広く深い意見交換ができました。自分の教養をさらに広げ、深める大変貴重な経験をさせていただきました。

Ruhr 大学 Bochum 校にて行われた 2nd Japanese-German student Workshop では、日・独両側の学生による研究発表と Ruhr 大学 Bochum 校 Experimental Physics II, V と Electrical Engineering の研究室見学、そしてデュッセルドルフ・ツアーが行われました。

プレゼンテーションでは、発表内容に関する活発な質疑応答が行われ、大変有意義な場となりました。また、日本側の学生のみならず独側研究者の研究内容、姿勢等をも詳細に知ることができ、大変勉強になりました。

研究室見学では、研究内容に加え実際に使用している機器等を見せていただきました。独側学生の研究に対する姿勢、そして充実した設備等非常に印象的でした。

デュッセルドルフ・ツアーでは、市庁舎やライントワー、教会などを見学致しました。途中デュッセルドルフの歴史話なども教えていただき、大変勉強になりました。

本プログラムを通し、プラズマに関する知見を広げ深めると共に、国際的な研究者としての多くの貴重な経験をさせていただきました。このような機会を与え、支援してくださいました JSPS International Training Program に深く感謝致します。また、私は本プログラムが国際的に活躍する研究者を育成するために大変有用であることを確信しております。